

山に生ごみを捨てない！！

あなたは、山などに行くとき弁当やお菓子を
持っていきますか？

外でおいしい空気を吸いながら食べるご飯
は格別ですが、その際、残飯やごみを決して
捨ててはいけません。また、地中に埋めても
いけません。

人間が食べる弁当やお菓子、ジュースの入
った空き缶等はヒグマにとっては、格好のお
いしいご馳走（誘引物）になります。

生ごみ等の味を覚えてしまったヒグマは、
おいしいエサ（生ごみ等）を求め、人里に現
れるようになったり、人間に積極的に近づい
て来るようになったりと、人間との遭遇事故
を引き起こす原因になります。

また、ヒグマの嗅覚は、人間などとは比べ
ものにならないくらい優れており、生ごみ等
を地中に埋めたとしても、その場所を掘り返
して自分の物とするため、そこに近づく者に
対しては攻撃姿勢を示します。

あなたが自分勝手に生ごみ等を山に捨てる
ことは、他の入山者やその地域に住む人達を
危険にさらす結果につながりますので、生ご
み等は、必ず持ち帰ってください。

また、人間のこのような行為は自然界に生
きるヒグマにとっても有益ではありません。

人間社会とヒグマとの住み分け・共生のた
めにも、最低限のルールである“山にごみを
捨てない”ことを徹底しましょう。

ヒグマに出会わないために！！

まず大事なことは、ヒグマの出没情報に注意
し、さらに人間の存在をヒグマに気づかせるな
ど、ヒグマに出会わないようにすることです。

1. 日の出、日没時など薄暗い時間帯は避け、単
独ではなく複数で行動し、鈴やラジオ等音の出
る物を携帯するか、大声でしゃべるなど、ヒグ
マに人間の存在を気づかせましょう。
2. ヒグマの糞や足跡など痕跡を見つけたとき
は、すみやかに引き返しましょう。

ヒグマに出会ってしまったら！？

ヒグマとの遭遇時において、確実に身を守る
術はありません。まずは“出会わない”ことが
第一ですが、もし出会ってしまったら、次のよ
うな行動が有効といわれています。参考にし
てください。

1. まずは落ち着いてください。慌てると冷静
な状況判断が出来なくなります。
2. ヒグマが遠くにいる場合は、気づかれない
ように静かにその場を立ち去りましょう。
決して大声をあげたり、走って逃げたり、
石を投げたりしてヒグマに刺激を与えてはい
けません。ヒグマの移動方向を見定めながら
静かに立ち去りましょう。
3. ヒグマがこちらへと近づいてきたときは、
ヒグマの目を見ながら、ゆっくり後退して
ください。その際、リュックや服などをそっ
と置くと、ヒグマの気を引いて時間をかせぐ
ことができるといわれています。



ヒグマは北海道に生息している日本最大の陸
生動物で、キタキツネやエゾシカなどと並んで北
海道を代表する動物です。また、その攻撃力は人
間など簡単に殺傷できる程です。

本来ヒグマは警戒心が強く、好んで人間社会と
接点を持つようなことはあまり見られなかった
のですが、昨今の急激な人間社会の進出によりそ
の生息域は狭まり、またエサ不足などもあいま
つて、最近では目撃情報、人間との遭遇事故など
が北海道内でも数多く報告されています。

このようなことから、この「クマツプ」は“ヒ
グマによる不幸な事故防止”“危険なヒグマを作
らない”“ヒグマとの共生”などを目的に、旭川
市内におけるヒグマの出没情報・簡単な対処法・
山でのルールなどの情報を提供しているもので
す。

つきましては、この「クマツプ」を参考にヒグ
マへの注意と配慮を忘れることのないようお願い
いたします。